

## 2020年度ぱるんkids'ウインタースクールを開催しました

岩手大学では、2011年度より毎年、小学校の長期休暇中の子育て支援として、教職員の子・孫の学童保育事業「ぱるん kids'スクール」を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症流行下、実施可否が心配されましたが、2021年1月5日（火）に、日程を1日に、参加児童数を小学校1～3年生9人に限り、感染対策を徹底して、開催しました。開催にあたっては、地域団体、学生団体（3団体）からプログラム提供の協力を頂きました。また、子どもの安全確保と活動支援を保育団体に委託し、岩手大学が養成している子育て支援ボランティア「次世代育成サポーター」がその活動を補佐しました。当日のプログラムは以下の通りです。

時間割	内容	担当
登校		男女共同参画推進室
始めの会		
1時間目	すごろくゲーム	ブックコミュニケーション（学生団体）
2時間目	理科実験「ふしぎなおもちゃを作ろう」	岩手理系女子育成研究会（地域団体）
昼休み		
3時間目	身の回りのものと環境	環境マネジメント学生委員会（学生団体）
4時間目	ジャグリングパフォーマンスと体験会	いわてストリートパフォーマンスクラブ（学生団体）
がんばったねの会		男女共同参画推進室
自由時間、下校		次世代育成サポーター

ふだん違う学校に通っているこどもたちは、あっという間に仲良くなりました。3チームに分かれてオリジナルのすごろくゲームを囲み、理科実験では、水を入れた塩ビパイプ上を家庭用永久磁石磁気治療器を使った虫が動くおもちゃをつくり、環境学習では、古着でエコバックをつくり、ジャグリングパフォーマンスを楽しみました。終了後の保護者アンケートには、「多様なプログラムを満喫し、親の職場に同行して、学生食堂で食事をするという非日常の体験も楽しかったようだ。」「とても楽しそうに理科実験で作ったパイプでマジックを見せてくれ、作り方を教わったエコバッグを3つも作ってくれた。」等の感想が書かれ、好評を得ました。



また、2月9日（火）に、プログラムを提供してくれた学生団体と子どもの活動支援にあたった次世代育成サポーターに集ってもらって参加者懇談会を開催し、活動を振り返り、良かった点、反省点、今後に向けての課題・提案等を出し合いました。今後の実施に活かしていきます。